

第3章

健幸（けんこう） 長寿のまち

311 所沢市保健医療計画推進事業										健康推進部保健医療課		保健医療課長 中山 倫宏	
目的	所沢市保健医療計画は、市民の健康づくり、食育、自殺対策、医療提供体制の整備など、保健・医療に関する施策を一体的に取りまとめ、第6次総合計画のまちづくりの目標である「健幸(けんこう)長寿のまち」の実現を目指すものである。									開始	H28	R6	R7
										予算現額		768千円	956千円
内容	保健・医療分野に関する目標指標の達成状況や取組実績を取りまとめ、市民、関係団体、関係行政機関の代表者、学識経験者等で構成される所沢市保健医療計画推進委員会にて点検・評価を行うことで、保健医療施策が効果的、効率的に推進できるように努めるものである。									決算額(R7見込)		731千円	851千円
										正規職員数		1.03人	1.12人
指標	目標指標達成率(令和6年度実績による令和7年度評価) 目標達成評価項目数 ÷ 全評価項目数 本計画を効果的、効率的に推進するため、すべての目標指標が以下の要を満たすことを目標とする。 ・定量的な指標:S、A(=達成率80%以上) ・定性的な指標:◎、○(=改善、継続等)						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		8,407千円	9,461千円
							86.8%	89.5%	100.0%	その他職員割合		0.00人	0.10人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		9,138千円	10,312千円
311 熱中症対策推進事業										健康推進部保健医療課		保健医療課長 中山 倫宏	
目的	熱中症による健康被害の発生、重症化を予防する。									開始	R6	R6	R7
										予算現額		283千円	198千円
内容	クーリングシェルターの指定及び管理、熱中症特別警戒アラート発表時をはじめとする暑熱環境下で生じる課題の検討などの環境整備と正しい知識の普及啓発等により、目的の達成を目指す。									決算額(R7見込)		262千円	119千円
										正規職員数		0.85人	0.64人
指標	クーリングシェルター指定施設数(クーリングシェルター施設の維持拡充) 毎年度、昨年度指定施設数の維持、増加を目標とする。						R6現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		6,938千円	5,406千円
							48か所	97か所	維持、増加	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		7,200千円	5,525千円
311 トコトコ健幸マイレージ事業										健康推進部健康づくり支援課		健康づくり支援課長 岩雲 美香	
目的	市民一人ひとりが健康を実感しながら、地域で安心していきいきとした生活をおくることのできる「健幸(けんこう)長寿のまちづくり」を目指す取組の一環として実施するものである。 「歩くことを中心とした健康づくり」のコンセプトに基づき日常的なウォーキングから生活習慣病の予防を図っている。									開始	R2	R6	R7
										予算現額		9,115千円	8,713千円
内容	埼玉県が実施する、ウォーキングアプリ「ALKOO(あるこう)」を活用した「コバトンALKOOマイレージ事業」に参入し、歩数実績等に応じて抽選で県内共通の景品が当たる制度に加え、本市独自のポイント制度及び景品を用意するなど、市民が生涯を通じて楽しみながら継続できる健康づくりを促進している。									決算額(R7見込)		8,238千円	7,863千円
										正規職員数		2.19人	2.17人
指標	トコトコ健幸マイレージ事業の参加者の1日平均歩数歩くことを意識した市民の健康づくりへの取組状況を示す指標。 数値は、トコトコ健幸マイレージ事業の参加者の1日平均歩数。令和10年度までに1人1日平均歩数8,000歩をめざすもの						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		17,875千円	18,330千円
							7,231歩	6,185歩	8,000歩	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	B:余地はある	進捗状況	C:計画どおりでない	方向性	Ⅰ:事業規模拡大	決算額+人件費		26,113千円	26,193千円
311 地域保健推進事業										健康推進部健康づくり支援課		健康づくり支援課長 岩雲 美香	
目的	市民一人ひとりが健康を実感しながら、地域で安心していきいきとした生活を送ることができる「健幸(けんこう)長寿のまちづくり」を目指す取組の一環として実施するものである。 保健師の地区担当制により、生活習慣病の発症及び重症化予防を見据えた予防的な働きかけを行い、健康寿命の延伸を図る。									開始	H18	R6	R7
										予算現額		38,478千円	32,008千円
内容	各種健康データの分析や保健事業を通じて地区の現状や健康課題を把握し、地域特性に合わせた保健活動を、市民ならびに関係機関と協力して進める。									決算額(R7見込)		24,811千円	27,597千円
										正規職員数		1.64人	1.40人
指標	地区活動による健康づくりへの取組状況を示す指標。 数値は、依頼教育の参加者数とし、令和10年度までに2800人を目指すものである。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		13,386千円	11,826千円
							2,065人	2,723人	2,800人	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		38,197千円	39,423千円
312 妊娠・出産つづけてサポート事業										こども未来部こども家庭センター		こども家庭センター長 美甘 有利恵	
目的	核家族化や地域のつながりの希薄化等により、地域で出産、子育てを担う母親の育児負担が増えていることから、妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する様々な相談に円滑に対応し、切れ目ない支援を実施する。									開始	H28	R6	R7
										予算現額		36,859千円	43,995千円
内容	妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する様々な相談に円滑に対応する。 電話、窓口、面接、訪問による相談対応(ところっ子子育てサポート事業こども家庭センター型)、母乳相談、妊婦サロンの実施、産後ケア事業等を実施する。									決算額(R7見込)		35,547千円	39,740千円
										正規職員数		2.57人	2.32人
指標	この地域で子育てをしたいと思う親の割合安心して子育てできる地域づくり、妊娠出産子育て期にわたる切れ目ない支援に対する市民の認識を示す指標。数値は、乳幼児健康診査(4ヶ月児、1歳6ヶ月児、3歳児)問診項目の設問「この地域で、今後も子育てをしていきたいか」に対し、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		20,976千円	19,597千円
							92.8%	95.4%	95.0%	その他職員割合		2.85人	2.90人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅲ:要改善	決算額+人件費		56,523千円	59,337千円

312 妊婦支援給付金事業										こども未来部こども家庭センター		こども家庭センター長 美甘 有利恵	
目的	妊婦の産前産後期間における経済的負担を軽減することを目的とする給付金と妊婦等包括相談支援事業とを効果的に組み合わせることで、妊娠中の身体的・精神的及び経済的な負担の軽減のための総合的な支援を行う。									開始	R7	R6	R7
										予算現額		-	286,351千円
内容	妊娠時の妊娠届出や出産後の新生児訪問の面談に合わせて、妊婦へ5万円、胎児数に応じて5万円の給付事業を実施する。									決算額(R7見込)		-	196,919千円
										正規職員数		-	2.16人
指標	妊娠届出者数に対する妊婦支援給付金(妊婦分)の妊婦給付認定者の割合。						R7現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		-	18,246千円
							100%	100%	100%	その他職員割合		-	0.40人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		-	215,165千円
313 食育推進事業										健康推進部健康づくり支援課		健康づくり支援課長 岩雲 美香	
目的	生活習慣病の予防と改善に関する正しい食生活の知識の普及、郷土料理・伝統食の継承や共食の大切さを伝えることにより、食育に関心のある市民を増やし、市民一人ひとりが生涯にわたって健康でいきいきとした生活を送ることを目的とする。									開始	H23	R6	R7
										予算現額		3,608千円	3,759千円
内容	生活習慣病の予防と改善に関する正しい食生活や栄養バランスの取れた食事の知識の普及、郷土料理・伝統食の継承、共食の大切さについての教室を実施する。									決算額(R7見込)		3,371千円	3,326千円
										正規職員数		0.78人	0.96人
指標	食育に関する料理教室や講習会の参加者数 食育推進事業の取組状況を示す指標。 数値は、食育に関する料理教室及び講習会の参加者数。令和10年度までに390人をめざすもの。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		6,366千円	8,109千円
							343人	384人	390人	その他職員割合		0.87人	0.77人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		9,737千円	11,435千円
314 3歳児フツ化物塗布委託事業										こども未来部こども家庭センター		こども家庭センター長 美甘 有利恵	
目的	幼児の歯科保健対策として、むし歯予防に有効なフツ化物塗布を実施することにより、幼児の健全な口腔の育成を促すとともに、幼児期から「かかりつけ歯科医」を持つことにつなげ、生涯にわたる歯科保健に対する意識の向上を図ることを目的とする。									開始	R4	R6	R7
										予算現額		1,452千円	726千円
内容	3歳児健康診査受診時にフツ化物塗布券を配布し、協力歯科医院にてフツ化物塗布を実施する。更にその保護者にも歯周病セルフチェックを実施し、定期的な歯科健診を促すことにより市民の生涯にわたる歯科保健に対する意識の向上を図る。									決算額(R7見込)		532千円	469千円
										正規職員数		0.30人	0.27人
指標	むし歯のない3歳児の割合 乳幼児期における健康な歯・口腔の健全な育成状況を測る指標。 数値は、むし歯のない3歳児の割合。毎年度、現状値以上をめざすもの。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		2,449千円	2,281千円
							95.0%	95.9%	現状値以上	その他職員割合		0.30人	0.25人
貢献度	C:貢献の度合いが低い	必要性	C:薄れている	効率性	B:余地はある	進捗状況	C:計画どおりでない	方向性	Ⅳ:事業規模縮小	決算額+人件費		2,981千円	2,750千円
314 成人歯科保健指導事業										健康推進部健康づくり支援課		健康づくり支援課長 岩雲 美香	
目的	食物の咀嚼のほか、食事や会話を楽しむことができるよう、歯科口腔に関する正しい知識の普及と歯科疾患による歯の喪失予防を目的とする。									開始	H3	R6	R7
										予算現額		2,488千円	2,977千円
内容	歯科口腔に関する正しい知識の普及と歯科疾患による歯の喪失予防を目的とし、歯科医師による講話や相談、歯肉の健康状態のチェック、歯科衛生士による歯科保健指導を実施する。									決算額(R7見込)		2,444千円	2,935千円
										正規職員数		0.57人	0.60人
指標	成人歯科保健に関する事業の取組状況を示す指標。 数値は、成人歯科保健事業の参加者数とし、令和10年度までに140人を目指すものである。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		4,652千円	5,068千円
							106人	127人	140人	その他職員割合		0.55人	0.66人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		7,096千円	8,003千円
321 各種予防接種事業										健康推進部健康管理課		健康管理課長 一色 義直	
目的	予防接種法に基づいて、小児については、市民の免疫レベルを高い水準に保ち、感染症の発生・まん延を防止し、成人については、重症化を予防するためもの。									開始	S23	R6	R7
										予算現額		2,198,526千円	1,019,055千円
内容	【種類】 (小児)ヒブ、小児用肺炎球菌、B型肝炎、四種混合、五種混合、不活化ポリオ、BCG、麻しん風しん混合、麻しん、風しん、水痘、日本脳炎、二種混合、HPV(キャッチアップ接種を除く)、ロタウイルス (成人)男性の風しん、高齢者インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、成人用肺炎球菌									決算額(R7見込)		1,707,143千円	871,972千円
										正規職員数		3.16人	2.95人
指標	二種混合予防接種の接種率感染症のまん延防止につながる予防接種の実施状況を示す指標。 数値は、二種混合予防接種の接種率。令和10年度までに88%をめざすもの。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		25,792千円	24,919千円
							84%	86%	88%	その他職員割合		0.25人	0.25人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		1,732,935千円	896,891千円

321 各種予防接種事業(带状疱疹ワクチン接種)								健康推進部健康管理課			健康管理課長 一色 義直		
目的	近年、高齢化やストレス等によって体の免疫力が低下することによる带状疱疹の発症者が増加していることから、高齢者について、個人の重症化予防を目的とするもの。							開始	R7	R6	R7		
								予算現額		-	34,216千円		
内容	【対象者】 令和7年度に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳になる者 ※100歳を超える者は、令和7年度に限り全員を対象とするもの。 接種時60歳以上65歳未満で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫に機能に生涯を有する者							決算額(R7見込)	-	38,888千円			
								正規職員数	-	0.41人			
指標	二種混合予防接種の接種率感染症のまん延防止につながる予防接種の実施状況を示す指標である。 数値は、二種混合予防接種の接種率である。令和10年度までに88%をめざすもの。							R7現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	-	3,463千円
								84%	86%	88%	その他職員割合	-	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	-	42,351千円	
322 成人健康教育・相談事業								健康推進部健康づくり支援課			健康づくり支援課長 岩雲 美香		
目的	健康に関する正しい知識の普及や啓発や生活習慣病の予防・改善に向けた支援を行うとともに、心身の健康に関する相談に応じ、必要な指導および助言を行い、市民の健康の保持増進を図る。							開始	S58	R6	R7		
								予算現額		5,301千円	5,616千円		
内容	保健師、栄養士、歯科衛生士、理学療法士等の専門職が連携して、健康教育および個別相談を実施する。							決算額(R7見込)	4,366千円	4,776千円			
								正規職員数	2.61人	2.92人			
指標	予約制健康相談(健康・栄養・歯科・リハビリ)の相談者数市民の健康に対する意識や関心を測る指標。 数値は、予約制健康相談(健康・栄養・歯科・リハビリ)の相談者数。令和10年度までに150人をめざすもの。							R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	21,303千円	24,665千円
								116人	143人	150人	その他職員割合	1.00人	1.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	B:余地はある	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	25,669千円	29,441千円	
323 がん検診事業								健康推進部健康管理課			健康管理課長 一色 義直		
目的	がんの早期発見と早期治療につなげ、市民のがんによる死亡の減少を図る。							開始	S58	R6	R7		
								予算現額		336,924千円	282,013千円		
内容	がん(胃・肺・大腸・乳・子宮頸・前立腺)検診などを保健センターや個別医療機関等で実施し、要精密検査対象者への受診勧奨を行う。 土日祝日や複数の検診を同時に受診できる環境、がん検診受診券の一斉送付及び集団検診受診希望日予約システム導入などにより、事業の内容をわかりやすく伝えとともに利便性の向上を図っている。							決算額(R7見込)	287,577千円	276,061千円			
								正規職員数	2.65人	2.95人			
指標	がん検診の受診者数市民の健康管理(本指標では「がん」)への関心を測る指標。 数値は、がん(胃・肺・大腸・乳・子宮頸・前立腺)検診の受診者数。令和10年度までに4,600人の増加をめざすもの。							R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	21,629千円	24,919千円
								43,400人	43,316人	48,000人	その他職員割合	3.00人	3.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	C:計画どおりでない	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	309,206千円	300,980千円	
324 精神保健事業								健康推進部健康管理課			健康管理課長 一色 義直		
目的	精神疾患の早期発見・早期治療を促進し、こころの健康の保持増進及び精神障害のある方とご家族の地域生活や社会参加を支援する。 精神障害の有無や程度に関わらず、誰もが安心して自分らしく暮らせるように重層的な支援体制の構築を進める。							開始	H14	R6	R7		
								予算現額		7,317千円	8,823千円		
内容	精神保健福祉士による相談支援及び精神科医師による専門相談、講演会などの普及啓発、心の病を抱えるご本人やご家族の交流の場、精神障害者等一時宿泊事業などを行う。 関係機関と連携し支援体制を充実させ、精神保健福祉の向上を促進する。							決算額(R7見込)	6,722千円	7,736千円			
								正規職員数	10.47人	9.33人			
指標	こころの健康講座等の参加者数 精神障害及び精神障害者に対する市民の関心と理解の高まりを示す指標。 数値は、こころの健康講座等の参加者数。令和10年度までに95人の増加をめざすもの。							R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	85,456千円	78,811千円
								3,505人	2,964人	3,600人	その他職員割合	0.00人	0.83人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	92,178千円	86,547千円	
324 自殺防止対策にかかる啓発事業								健康推進部健康管理課			健康管理課長 一色 義直		
目的	自殺対策基本法の理念に基づき、自殺を個人の問題にとどまらず社会全体で取組むべき課題と捉え、誰もが自殺に追い込まれることのない地域社会の実現を目指し、自殺防止対策を推進する。							開始	H21	R6	R7		
								予算現額		1,110千円	1,096千円		
内容	うつ病講座、うつ病のご本人やご家族の交流の場、自死遺族のつどい、高校生を対象とした精神科医師による専門相談「思春期こころの健康相談」、メンタルチェックシステム「こころの体温計」							決算額(R7見込)	956千円	984千円			
								正規職員数	0.68人	0.52人			
指標	思春期こころの健康相談事業の延相談者数 「生きるを支える所沢市行動計画」(自殺対策計画)に基づく施策のうち「思春期こころの健康相談事業」の相談者数を指標とした。							R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	5,550千円	4,392千円
								23人	26人	30人	その他職員割合	0.00人	0.01人
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	6,506千円	5,376千円	

331 小児科救急医療病院群輪番制事業										健康推進部保健医療課		保健医療課長 中山 倫宏	
目的	所沢地区(所沢市、狭山市、入間市)における夜間及び休日・祝日、年末年始の小児の第二次救急医療を確保するものである。									開始	H12	R6	R7
										予算現額		3,253千円	3,383千円
内容	所沢地区(所沢市、狭山市、入間市)における夜間及び休日・祝日、年末年始の小児の第二次救急医療を確保するため、3市及び協力医療機関(3病院)による協定書に基づき、輪番制で第二次救急医療体制の整備を図るものである。									決算額(R7見込)		3,253千円	3,383千円
										正規職員数		0.17人	0.08人
指標	平日夜間・祝休日・年末年始における医療体制を示す指標。毎年度、現状維持をめざすもの。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		1,388千円	676千円
							確保	実施	現状維持	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		4,641千円	4,059千円
331 在宅当番医制実施事業										健康推進部保健医療課		保健医療課長 中山 倫宏	
目的	一般の医療機関が診療を行っていない休日・祝日及び年末年始において、初期救急患者の医療体制を確保するものである。									開始	S59	R6	R7
										予算現額		16,035千円	16,248千円
内容	一般の医療機関が診療を行っていない休日・祝日及び年末年始において、初期救急患者の医療体制を確保するため、所沢市医師会との委託契約により、市内の医療機関が輪番制で診療を実施するものである。									決算額(R7見込)		16,035千円	16,248千円
										正規職員数		0.22人	0.08人
指標	入院を必要としない軽症の救急患者に対応する初期救急医療体制を示す指標。毎年度、現状維持をめざすもの。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		1,796千円	676千円
							実施	実施	現状維持	その他職員割合		0.05人	0.05人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		17,831千円	16,924千円
331 所沢地区病院群輪番制病院運営事業										健康推進部保健医療課		保健医療課長 中山 倫宏	
目的	所沢地区(所沢市、狭山市、入間市)における夜間及び休日・祝日、年末年始の第二次救急患者の医療体制を確保するものである。									開始	S55	R6	R7
										予算現額		31,045千円	31,116千円
内容	所沢地区(所沢市、狭山市、入間市)における夜間及び休日・祝日、年末年始の第二次救急患者の医療体制を確保するため、第二次救急医療機関(12病院)が病院群輪番制方式により診療を実施するものである。									決算額(R7見込)		31,045千円	31,116千円
										正規職員数		0.17人	0.08人
指標	平日夜間・祝休日・年末年始における医療体制を示す指標。毎年度、現状維持をめざすもの。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		1,388千円	676千円
							確保	実施	現状維持	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		32,433千円	31,792千円
331 歯科診療所事業										健康推進部保健医療課		保健医療課長 中山 倫宏	
目的	一般の歯科診療所での診療が困難な患者への歯科診療体制及び休日緊急歯科診療体制を確保するものである。									開始	H10	R6	R7
										予算現額		59,760千円	59,861千円
内容	保健センター内「歯科診療所あおぞら」において、在宅介護高齢者及び障害児者の歯科診療、休日緊急歯科診療を実施するものである。									決算額(R7見込)		54,320千円	56,771千円
										正規職員数		0.78人	0.92人
指標	休日において緊急に歯科診療を必要とする患者に対応する体制を示す指標。毎年度、現状維持をめざすもの。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		6,366千円	7,771千円
							実施	実施	現状維持	その他職員割合		0.00人	0.00人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		60,686千円	64,542千円
332 感染症対策推進事業										健康推進部保健医療課		保健医療課長 中山 倫宏	
目的	新型コロナウイルス感染症の対応を踏まえ、平時から感染症の発生動向を把握することを目的とし、感染症の流行状況、感染症流行警報及び注意報を迅速に周知し、感染症のまん延防止を目指す。									開始	R5	R6	R7
										予算現額		0千円	0千円
内容	所沢市新型インフルエンザ等対策行動計画を踏まえ、平時から感染症の発生動向を把握することを目的とし、感染症の流行状況、感染症流行警報及び注意報を迅速に周知し、感染症のまん延防止を目指す。									決算額(R7見込)		0千円	0千円
										正規職員数		0.25人	0.50人
指標	感染症の流行状況や予防対策について周知啓発するための指標。毎年度、52回(週1回)以上の情報発信をめざすもの。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		2,041千円	4,224千円
							随時	56回	52回	その他職員割合		0.1人	0.1人
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		2,041千円	4,224千円

332 がん患者支援事業								健康推進部保健医療課				保健医療課長 中山 倫宏	
目的	がん患者に対し、外見の変化をケアする用品の購入費用、在宅療養費用等の一部を助成することにより、がん患者やその家族の生活の質の向上及び心理的・経済的負担の軽減を図るものである。							開始	R6	R6	R7		
								予算現額		3,735千円	3,792千円		
内容	アピアランスケア支援：がん治療に伴う外見上の変化に対するケア用品（ウィッグ・補整具等）の購入費用の助成 ターミナルケア支援：若年成人世代の終末期がん患者に対する在宅療養費用（訪問介護、訪問入浴介護の利用等）の助成							決算額（R7見込）	589千円	1,546千円			
								正規職員数	1.00人	1.00人			
指標	アピアランスケア支援の交付申請数及びターミナルケア支援の交付申請数の合計 がん患者への支援が市の役割として期待されており、支援が滞ることなく事業を推進していけるよう、1年間事業を通した令和7年度実績を考慮し、年間交付申請数見込みを目標とする。							R6現状	R7実績	R10目標	正規職員数（費）	8,162千円	8,447千円
								59件	155件	174件	その他職員割合	0人	0.30人
貢献度	A：貢献している	必要性	B：変わらない	効率性	A：余地はない	進捗状況	B：計画どおり	方向性	Ⅱ：継続	決算額＋人件費	8,751千円	9,993千円	
333 内科外来事業								市民医療センター事務部総務課				総務課長 粕谷 憲之	
目的	地域住民の医療ニーズを的確に把握し、地域における医療提供体制の充実を図り、良質な医療を効率的・継続的に提供するものである。							開始	S51	R6	R7		
								予算現額		407,364千円	434,806千円		
内容	①内科外来診療 ②内視鏡検査の実施 ③糖尿病外来の実施							決算額（R7見込）	419,490千円	449,540千円			
								正規職員数	9.30人	8.95人			
指標	1日の内科外来診療患者数（二次救急含む）（内科外来患者数／診療日数） 公的医療機関として、地域における医療提供体制の充実を図ることを目標とし、信頼して受診いただける受診環境の整備に努めていることから、内科外来の診療患者数を指標とする。							R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数（費）	75,907千円	75,601千円
								78人	75人	78人	その他職員割合	29.00人	32.88人
貢献度	B：やや貢献している	必要性	B：変わらない	効率性	A：余地はない	進捗状況	B：計画どおり	方向性	Ⅱ：継続	決算額＋人件費	495,397千円	525,141千円	
333 入院事業								市民医療センター事務部総務課				総務課長 粕谷 憲之	
目的	市民が安心して暮らすことができる医療環境を整備するとともに、地域での医療連携（地域完結型医療）体制を推進するもの。							開始	S51	R6	R7		
								予算現額		764,477千円	767,688千円		
内容	一般入院、かかりつけ医からの紹介、民間病院で受け入れ困難な患者などについて、入院受入れを行う。							決算額（R7見込）	642,984千円	688,947千円			
								正規職員数	28.90人	26.85人			
指標	地域包括ケア病床の利用率 在宅復帰を支援するための取組状況を示す指標。 数値は、地域包括ケア病床の利用率。令和10年度までに90.0%をめざすもの。							R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数（費）	235,882千円	226,802千円
								74.4%	75.4%	90.0%	その他職員割合	33.70人	27.39人
貢献度	B：やや貢献している	必要性	B：変わらない	効率性	A：余地はない	進捗状況	C：計画通りでない	方向性	Ⅱ：継続	決算額＋人件費	878,866千円	915,749千円	
333 健診事業								市民医療センター事務部総務課				総務課長 粕谷 憲之	
目的	市民の健康維持・増進及び疾病の早期発見、早期治療に繋げていくため。							開始	S51	R6	R7		
								予算現額		638,536千円	658,122千円		
内容	①人間ドック、特定健診などの検診を実施。 ②精密検査や治療が必要な受診者に対し、受診勧奨を行い、確実な医療機関への受診を促進するものである。							決算額（R7見込）	516,757千円	553,774千円			
								正規職員数	16.90人	18.88人			
指標	市民医療センターで人間ドックを受診し、精密検査を指示された方のうち市民医療センターで精密検査を受けた方の割合 疾病の早期発見、早期治療に取り組むことを目標とするため、人間ドックで精密検査を指示された方のうち、市民医療センターで実際に精密検査を受けた方の割合を指標とする。							R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数（費）	137,938千円	159,479千円
								32.4%	36.1%	30.0%	その他職員割合	48.00人	33.91人
貢献度	B：やや貢献している	必要性	B：変わらない	効率性	A：余地はない	進捗状況	B：計画どおり	方向性	Ⅱ：継続	決算額＋人件費	654,695千円	713,253千円	
333 小児初期救急医療体制推進事業								市民医療センター事務部総務課				総務課長 粕谷 憲之	
目的	安心して子育てができる医療環境を整備するため、医療機関の多くが診療を実施していない夜間、深夜、日曜日及び祝日において小児の内科的急性疾患の初期診療を実施し、関係医療機関と連携しながら所沢市域全体で365日の小児初期救急医療体制が維持できるよう努めていく。							開始	H11	R6	R7		
								予算現額		209,414千円	211,133千円		
内容	①小児科外来診療 ②小児神経発達外来等の実施							決算額（R7見込）	182,241千円	195,296千円			
								正規職員数	3.50人	4.05人			
指標	小児初期救急医療体制の維持 安心して子育てができる医療環境を整備するため、市民医療センターと市内医療機関が連携して、所沢市域全体での小児初期救急医療の提供体制を維持するものである。							R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数（費）	28,567千円	34,168千円
								維持	維持	維持	その他職員割合	54.40人	34.05人
貢献度	B：やや貢献している	必要性	B：変わらない	効率性	A：余地はない	進捗状況	B：計画どおり	方向性	Ⅱ：継続	決算額＋人件費	210,808千円	229,464千円	

333 小児科外来事業										市民医療センター事務部総務課				総務課長 粕谷 憲之	
目的	安心して子育てのできる医療環境を整備するため、地域における医療提供体制との連携を図り、良質な医療を効率的・継続的に提供するものである。								開始	S51	R6	R7			
									予算現額		176,340千円	195,939千円			
内容	①小児科外来診療 ②小児神経発達外来等の実施								決算額(R7見込)		150,568千円	161,353千円			
									正規職員数		3.60人	4.64人			
指標	1日の小児科外来診療患者数 (小児科外来患者数／診療日数) 公的医療機関として、地域における医療提供体制の充実を図ることを目標とし、信頼して受診いただける受診環境の整備に努めていることから、小児科外来の診療患者数を指標とする。				R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	29,383千円	39,152千円					
					112人	68.6人	90.0人	その他職員割合	14.00人	9.22人					
貢献度	B:やや貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	179,951千円	200,505千円			
333 市民医療センター再整備事業										市民医療センター事務部総務課				総務課長 粕谷 憲之	
目的	市民医療センターは、昭和51年9月の開設以来49年が経過し、施設や設備の老朽化が進んでいることから、施設整備の方法や担うべき機能など、再整備の検討を行ってきた。本事業は、令和5年度策定の所沢市市民医療センター再整備基本計画に基づき、現在の市民医療センターを運営しながら、現在地での建て替えを行うものである。								開始	R6	R6	R7			
									予算現額		58,715千円	182,244千円			
内容	令和5年度策定の所沢市市民医療センター再整備基本計画に基づき、基本設計及び実施設計を行ったうえで、再整備工事(新病院建築、現病院解体、駐車場等外構工事)を行うものである。								決算額(R7見込)		45,936千円	9,900千円			
									正規職員数		3.28人	4.44人			
指標	所沢市市民医療センター再整備基本計画の内容に沿って、設計、再整備工事を進める。				R6現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	26,771千円	37,505千円					
					-	-	-	その他職員割合	0.00人	0.00人					
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	C:計画どおりでない	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	72,707千円	47,405千円			
341 レセプト点検業務委託事業										健康推進部国民健康保険課				国民健康保険課長 遠藤 康代	
目的	レセプトの誤請求による返戻や査定(減点)を防ぎ、医療費の適正化を図る。								開始	R2	R6	R7			
									予算現額		7,401千円	4,431千円			
内容	1埼玉県国民健康保険団体連合会で審査されたレセプトを受領し、電算処理する。 2レセプト点検システムにより内容点検を行う。 3内容について疑義がある場合は、埼玉県国民健康保険団体連合会へ再審査の依頼をする。								決算額(R7見込)		5,037千円	3,418千円			
									正規職員数		0.33人	0.36人			
指標	第三者行為求償届出件数レセプトの内容点検等の充実・強化の取組状況を測る指標。 数値は、第三者行為求償事務の件数。毎年度、現状値以上をめざすもの。				R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	2,693千円	3,041千円					
					30件	35件	現状値以上	その他職員割合	0.00人	0.00人					
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	7,730千円	6,459千円			
342 特定保健指導業務委託事業										健康推進部国民健康保険課				国民健康保険課長 遠藤 康代	
目的	生活習慣病予防及び疾病の早期発見・早期治療を通して、健康の保持増進と生活の質の向上を図る。								開始	H31	R6	R7			
									予算現額		5,456千円	4,579千円			
内容	特定保健指導のうち、動機付け支援と積極的支援の初回面接を健診を実施した医療機関において実施する。								決算額(R7見込)		2,818千円	2,650千円			
									正規職員数		0.60人	0.60人			
指標	30歳代の被保険者の健康診査受診率 疾病予防対策の推進に関する取組の成果を測る指標。 数値は、30歳代の国民健康保険被保険者の健康診査受診率。令和10年度までに14.0%をめざすもの。				R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	4,897千円	5,068千円					
					13.2%	13.4%	14.0%	その他職員割合	1.00人	1.00人					
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	7,715千円	7,718千円			
343 糖尿病性腎症重症化予防対策事業										健康推進部国民健康保険課				国民健康保険課長 遠藤 康代	
目的	糖尿病の重症化や人工透析への移行を防止し、健康寿命の延伸と医療費の適正化を図る。								開始	H26	R6	R7			
									予算現額		17,640千円	13,821千円			
内容	埼玉県糖尿病性腎症重症化プログラムに基づき、レセプトと健診データを活用し、重症化のリスクの高い未受信者等への受診勧奨や通院患者に対して保健指導を行う。								決算額(R7見込)		10,411千円	12,643千円			
									正規職員数		1.05人	0.55人			
指標	人工透析の新規移行者数生活習慣病重症化予防の対策に関する取組の成果を測る指標。 数値は、人工透析の新規移行者数。毎年度、現状値以下をめざすもの。				R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	8,570千円	4,646千円					
					32人	22人	現状値以下	その他職員割合	0.00人	0.00人					
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	A:計画以上	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	18,981千円	17,289千円			

344 服薬適正化事業								健康推進部国民健康保険課				国民健康保険課長 遠藤 康代	
目的	かかりつけ医・かかりつけ薬局の利用推進及び被保険者の服薬適正化・医療費適正化を図る。							開始	H29	R6	R7		
								予算現額		3,155千円	4,019千円		
内容	「所沢市、所沢市医師会、所沢市薬剤師会及び明治薬科大学との連携による市民の健康増進に関する包括的協定書」に基づき、ポリファーマシー（多剤服薬による有害事象）の周知啓発を行うと同時に、レセプトデータや事業に係るアンケートから、服薬状況等のデータを集計・分析する。							決算額（R7見込）	1,527千円	2,064千円			
								正規職員数	0.75人	0.66人			
指標	お薬相談会の参加者数服薬適正化の取組状況を示す指標。 数値は、お薬相談会の参加者数。毎年度、30人以上をめざすもの。							R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数（費）	6,122千円	5,575千円
								14人	26人	30人	その他職員割合	0.00人	0.00人
貢献度	A：貢献している	必要性	A：高まっている	効率性	A：余地はない	進捗状況	B：計画どおり	方向性	Ⅱ：継続	決算額＋人件費	7,649千円	7,639千円	
344 ジェネリック医薬品利用促進事業								健康推進部国民健康保険課				国民健康保険課長 遠藤 康代	
目的	被保険者の薬代の自己負担額の軽減と医療費の適正化を図る。							開始	H25	R6	R7		
								予算現額		1,038千円	797千円		
内容	ジェネリック医薬品を利用した場合の差額を明示した通知発送や利用促進シールの配布により、被保険者への周知・啓発活動を進める。							決算額（R7見込）	689千円	530千円			
								正規職員数	0.38人	0.19人			
指標	医薬品のうち、ジェネリック医薬品がどれだけの割合（数量シェア率）を占めているかを示す指標である。 数値は、ジェネリック医薬品の割合（数量シェア率）とし、毎年度、82.5％以上をめざすもの。							R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数（費）	3,102千円	1,605千円
								82.5％	89.4％	82.5％	その他職員割合	0.00人	0.00人
貢献度	A：貢献している	必要性	A：高まっている	効率性	A：余地はない	進捗状況	A：計画以上	方向性	Ⅱ：継続	決算額＋人件費	3,791千円	2,135千円	
345 総合健康診断（人間ドック）補助事業								健康推進部国民健康保険課				国民健康保険課長 遠藤 康代	
目的	疾病の早期発見及び生活習慣病予防等健康の保持増進を図る。							開始	H20	R6	R7		
								予算現額		19,965千円	19,965千円		
内容	後期高齢医療被保険者に対し所沢市市民医療センターにて実施する総合健康診断（人間ドック）の検診料の一部を助成する。							決算額（R7見込）	18,456千円	19,910千円			
								正規職員数	0.40人	0.45人			
指標	後期高齢者健康診査の受診率疾病予防や健康保持に関する取組の成果を測る指標。 数値は、後期高齢者医療被保険者の健康診査受診率。令和10年度までに40.0％をめざすもの。							R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数（費）	3,265千円	3,801千円
								35.0％	35.5％	40.0％	その他職員割合	0.00人	0.00人
貢献度	A：貢献している	必要性	B：変わらない	効率性	A：余地はない	進捗状況	B：計画どおり	方向性	Ⅱ：継続	決算額＋人件費	21,721千円	23,711千円	
351 スポーツ教室開催事業								教育総務部スポーツ振興課				スポーツ振興課長 藤井 徹	
目的	ニュースポーツや健康体操教室などの運動を通して健康維持を図ると共にスポーツニーズに応え、生涯を通してスポーツに親しむきっかけをつくる。							開始	S52	R6	R7		
								予算現額		307千円	307千円		
内容	主催事業教室の計画を立て年度初めに年間事業予定表一覧「スポーツ所沢」を市民体育館、各まちづくりセンター、コミュニティセンター等に配付する。随時日程に合わせ生涯学習情報紙にて募集を行う。							決算額（R7見込）	139千円	18,782千円			
								正規職員数	0.33人	0.24人			
指標	週1回以上スポーツを実施する成人の割合の向上成人のスポーツ活動状況を示す指標。 数値は、市民意識調査の設問「あなたは普段どの程度スポーツを行っていますか。」に関する集計結果において、週1回以上実施していた人の割合。毎年度、現状値以上をめざすもの。							R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数（費）	2,693千円	2,027千円
								51.9％	49.2％	現状値以上	その他職員割合	0.00人	5.86人
貢献度	A：貢献している	必要性	B：変わらない	効率性	B：余地はある	進捗状況	B：計画どおり	方向性	Ⅱ：継続	決算額＋人件費	2,832千円	20,809千円	
351 所沢シティマラソン大会開催事業								教育総務部スポーツ振興課				スポーツ振興課長 藤井 徹	
目的	所沢市最大のスポーツイベントとして、市民の健康づくりや人とのふれあいの場を提供し誰でも参加できることから、生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を図る。							開始	H2	R6	R7		
								予算現額		8,000千円	8,000千円		
内容	各種スポーツ団体から選出された役員他で構成された実行委員会を組織し、ハーフ・チャレンジ・エンジョイ・ファミリーの4部門を実施する。							決算額（R7見込）	8,000千円	8,900千円			
								正規職員数	2.79人	2.77人			
指標	申込率（申込者数（組数）÷募集人数（組数）×100） 募集人数（組数）に対する申込者をパーセンテージで算出。（R7募集人数（組数）4,600） 大会の魅力を増し、申込割合を高めていく。							R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数（費）	22,772千円	23,398千円
								83％	107％	100％	その他職員割合	0.48人	0.30人
貢献度	A：貢献している	必要性	B：変わらない	効率性	B：余地はある	進捗状況	A：計画以上	方向性	Ⅱ：継続	決算額＋人件費	30,772千円	32,298千円	

351 所沢市スイミングフェスティバル開催事業										教育総務部スポーツ振興課			スポーツ振興課長 藤井 徹	
目的	産官学連携により、市民をはじめ参加者の健康づくりと生涯スポーツの振興並びに所沢市水泳連盟の再建を目的とする。									開始	R6	R6	R7	
										予算現額		300千円	300千円	
内容	早稲田大学所沢キャンパスのアクアアリーナにおいて、午前は年齢・種目別に競泳を行う競技会の部、午後は普段水に慣れ親しんでいない方でも楽しめるよう浮島渡りや水中玉入れ合戦等のフェスティバル要素を含んだフェスティバルの部を実施する。									決算額(R7見込)		300千円	300千円	
										正規職員数		0.73人	0.73人	
指標	申込率(申込者数÷募集人数×100) 募集人数に対するエントリー数をパーセンテージで算出。(R7募集人数300) 大会の魅力をPRし、申込者を増やしていく。						R6現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	5,958千円	6,166千円		
							79%	68%	現状値以上	その他職員割合	0.00人	0.00人		
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	C:計画どおりでない	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	6,258千円	6,466千円		
352 ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設活用事業										教育総務部スポーツ振興課		スポーツ振興課長 藤井 徹		
目的	トップアスリート(ゴルフボール日本代表)が国際競技力向上に資する活動を効果的・効率的に実施することができるよう、施設の環境整備を行うものである。									開始	H28	R6	R7	
										予算現額		5,406千円	8,847千円	
内容	所沢市民体育館がスポーツ庁からゴルフボール競技のナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設として指定されたことに伴い、本市がスポーツ庁から業務委託を受けている。									決算額(R7見込)		3,669千円	3,241千円	
										正規職員数		0.43人	0.40人	
指標	直近1年間でスポーツ観戦に行った人の割合市民のスポーツ観戦への関心度を測る指標。 数値は、スポーツに関するアンケート調査の設問「直近1年間でスポーツ観戦に行きましたか」に対し「実施している」と回答した人の割合。毎年度、50.0%以上をめざすもの。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	3,510千円	3,379千円		
							-	25.4%	50.0%	その他職員割合	0.00人	0.00人		
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	C:計画どおりでない	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	7,179千円	6,620千円		
352 イタリア選手団事前キャンプ受入れ事業(世界陸上2025東京大会)										教育総務部スポーツ振興課		スポーツ振興課長 藤井 徹		
目的	海外のトップアスリートと触れ合う機会を創出し、第3次スポーツ推進計画の基本理念である「スポーツをくする><みる><ささえる>」の視点からスポーツ推進を図る。									開始	R7	R6	R7	
										予算現額		-	160千円	
内容	選手が練習・調整を行う早稲田大学所沢キャンパス内で、歓迎セレモニーを行う他、練習に市内の小学生が参加し、選手と交流する機会を作る。									決算額(R7見込)		-	416千円	
										正規職員数		-	0.41人	
指標	申込率 (申込者数÷募集人数×100)						R7現状	R7実績	R7目標	正規職員数(費)	-	3,463千円		
							-	200%	100%	その他職員割合	-	0.10人		
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	A:計画以上	方向性	V:事業終了	決算額+人件費	-	3,879千円		
353 体育施設管理運営事業										教育総務部スポーツ振興課		スポーツ振興課長 藤井 徹		
目的	体育施設をスポーツ、レクリエーションの場としての利用に供し、広く利用者の余暇活動、健康増進に寄与することを目的とする。									開始	S51	R6	R7	
										予算現額		452,874千円	451,092千円	
内容	・施設の利用については、公共施設予約システムによる登録・利用申込みをし、利用する。 ・利用者が安全かつ快適に利用できるよう施設の整備、維持管理を行う。									決算額(R7見込)		430,016千円	348,295千円	
										正規職員数		4.19人	2.05人	
指標	スポーツ・レクリエーション施設利用者数の増加市内のスポーツ・レクリエーション施設の充実度を示す指標。 数値は、市有の屋内・屋外スポーツ施設の年間利用者数。毎年度、現状値以上をめざすもの。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	34,199千円	17,316千円		
							801,114人	814,579人	現状値以上	その他職員割合	5.70人	5.80人		
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	A:計画以上	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費	464,215千円	365,611千円		
353 体育施設整備事業										教育総務部スポーツ振興課		スポーツ振興課長 藤井 徹		
目的	市民の健康増進に寄与し、余暇活動の充実を図る。									開始	S45	R6	R7	
										予算現額		13,660千円	13,500千円	
内容	利用者が安全かつ快適に利用できるよう体育施設の整備を行う。 ①所沢市公共施設等管理計画の内容に沿った整備を検討する。②所沢市公共建築物修繕計画に基づく改修工事を行う。③緊急性の高いものについては、随時、修繕を実施する。									決算額(R7見込)		13,660千円	23,439千円	
										正規職員数		0.35人	1.37人	
指標	整備施設の整備率(予算執行額÷予算額×100) 施設の修繕、整備を目標とし、年々進む老朽化に対応しながら、安全かつ快適な施設運営を行っていく。						R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)	2,857千円	11,572千円		
							100%	99.7%	100%	その他職員割合	2.97人	3.96人		
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	I:事業規模拡大	決算額+人件費	16,517千円	35,011千円		

353 所沢市運動部活動推進事業										教育総務部スポーツ振興課			スポーツ振興課長 藤井 徹	
目的	・持続可能な部活動と教師の負担軽減の両方を実現する。 ・地域スポーツを振興する。									開始	R5	R6	R7	
										予算現額		250千円	250千円	
内容	所沢市立中学校における部活動の地域展開について、必要な事項を検討するため、所沢市立中学校地域部活動検討委員会を設置する。									決算額(R7見込)		150千円	2,292千円	
										正規職員数		0.61人	0.61人	
指標	検討会議開催率(実施回数÷実施予定回数全5回×100) 本市において、部活動地域展開を段階的に実施するために、必要事項について協議をするために必要な回数を設定した。					R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		4,979千円	5,153千円		
						100%	100%	100%	その他職員割合		0.20人	1.00人		
貢献度	A:貢献している	必要性	A:高まっている	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		5,129千円	7,445千円	
353 所沢市民体育館自動火災報知設備修繕事業										教育総務部スポーツ振興課			スポーツ振興課長 藤井 徹	
目的	公共施設の整備について、適切な管理を進める。									開始	R7	R6	R7	
										予算現額		-	20,020千円	
内容	所沢市民体育館の自動火災報知機設備について、落雷により、設備の一部が故障したため修繕するもの。									決算額(R7見込)		-	16,720千円	
										正規職員数		-	0.06人	
指標	当該年度中に修繕を完了させる(進捗率100%)					R7現状	R7実績	R7目標	正規職員数(費)		-	507千円		
						-	100%	100%	その他職員割合		-	0.00人		
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	A:余地はない	進捗状況	B:計画どおり	方向性	V:事業終了	決算額+人件費		-	17,227千円	
354 オリンピック・パラリンピック競技啓発事業										教育総務部スポーツ振興課			スポーツ振興課長 藤井 徹	
目的	オリンピック・パラリンピックの機運醸成や地域の活性化を図ることを目的とする。									開始	R4	R6	R7	
										予算現額		789千円	789千円	
内容	オリンピック・パラリンピックに出場する選手や、本市にゆかりのある世界的なアスリートを所沢市ゆかりのアスリートとして認定し、市をあげて応援することで本市のスポーツ振興を図る。									決算額(R7見込)		726千円	2,562千円	
										正規職員数		0.56人	0.41人	
指標	SNS等によるスポーツ情報の発信市民に対する情報発信の取組状況を示す指標。 数値は、所沢市スポーツ振興課のSNS等による情報発信回数。毎年度、現状値以上をめざすもの。					R5現状	R7実績	R10目標	正規職員数(費)		4,571千円	3,463千円		
						432回	292回	現状値以上	その他職員割合		0.90人	0.80人		
貢献度	A:貢献している	必要性	B:変わらない	効率性	B:余地はある	進捗状況	C:計画どおりでない	方向性	Ⅱ:継続	決算額+人件費		5,297千円	6,025千円	